

4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
話・聞	：話す・聞く能力
書 く	：書く能力
読 む	：読む能力
言 語	：言語についての知識・理解・技能

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)
A 話すこと・聞くこと(1) 2年エ	1	一 話の内容を正確に聞き取ることができる。		話・聞	50.0	40.6
A 話すこと・聞くこと(1) 1年イ		二 報告で使ったフリップの工夫について、当てはまらないものを指摘することができる。		話・聞	50.0	42.5
A 話すこと・聞くこと(1) 1年エ		三 ポスターの呼びかけの言葉を提示した理由を説明することができる。	◇	話・聞	40.0	85.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1) 1年ウ (ア) (イ) 2年ウ (ア) (イ)	2	一 (1) 文脈の中で漢字〔車窓〕を正しく読むことができる。		言 語	80.0	76.5
		(2) 文脈の中で漢字〔奮う〕を正しく読むことができる。		言 語	70.0	64.1
		(3) 文脈の中で漢字〔重宝〕を正しく読むことができる。		言 語	80.0	38.6
	二 (1) 文脈の中で漢字〔典型〕を正しく書くことができる。		言 語	40.0	30.9	
	(2) 文脈の中で漢字〔注ぐ〕を正しく書くことができる。		言 語	70.0	66.3	
	(3) 文脈の中で漢字〔散策〕を正しく書くことができる。		言 語	60.0	40.3	
三 (1) 文脈の中で誤って使われている漢字を見つけ、正しい漢字を指摘することができる。	◇	言 語	40.0	73.5		
(2) 文脈の中で誤って使われている漢字を見つけ、正しい漢字を指摘することができる。	◇	言 語	40.0	54.2		
伝統的な言語文化に関する事項(1)1年ア (ア)	3	一 文語のきまりに従って、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。		言 語	90.0	86.4
C 読むこと(1)1年ア		二 「いかん」の適切な意味を指摘することができる。		読 む	90.0	88.6
C 読むこと(1)1年ウ		三 複数の資料から必要な情報をまとめ、故事成語の意味を説明することができる。	◇	読 む	40.0	37.6
C 読むこと(1)1年イ	4	一 段落の相互関係を正しく捉え、正しい接続語を指摘することができる。		読 む	70.0	71.0
国語の特質に関する事項(1)2年イ (ウ)		二 文の中の主述の関係を正しく捉え、述語に対応した主語を指摘することができる。		言 語	40.0	15.8
B 書くこと(1)1年ア		三 (1) 提示された情報から判断し、必要な情報を指摘することができる。	◇	書 く	60.0	77.5
B 書くこと(1)1年ウ		(2) 目的のために必要だと思う情報を選び、その理由を説明することができる。	◇	書 く	50.0	74.2
C 読むこと(1)1年ウ	5	一 場面の展開や登場人物などの心情や情景描写について捉え、ふさわしい言葉を指摘することができる。	◇	読 む	70.0	52.1
C 読むこと(1)1年エ		二 文章の構成や展開、表現の特徴等を捉え、文章中からふさわしい文を指摘することができる。	◇	読 む	50.0	5.3
C 読むこと(1)1年ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)1年イ (イ)		三 語句の意味を文脈に沿って読み取り、適切な表現に書き換えることができる。	◇	読 む	70.0	61.7
C 読むこと(1)1年ウ		四 登場人物の心情について考え、音読の工夫について理由を挙げて説明することができる。	◇	読 む	60.0	48.2
C 読むこと(1)1年ア	6	一 文脈を基に、用いられるべき言葉を類推し、文章中から指摘することができる。		読 む	60.0	14.2
C 読むこと(1)1年イ		二 文章の展開に即して内容を的確に捉え、ふさわしい箇所を指摘することができる。		読 む	50.0	33.2
C 読むこと(1)1年イ		三 文章の内容を的確に捉え、適切なものを指摘することができる。		読 む	50.0	38.1
C 読むこと(1)1年イ		四 文章の内容を的確に捉え、指し示すことを文章中の言葉を使って説明することができる。	◇	読 む	30.0	26.0
B 書くこと(1)2年イ	7	必要な情報を資料から集め、条件に従った文章を記述することができる。	◇	書 く	40.0	49.8

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東青管内		西北管内					
			青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	内容の聞き取り	50.0	40.2	39.9	44.2	42.5	55.3	35.7	31.9
	二	発表の内容を伝える工夫の指摘	50.0	42.8	43.0	39.1	39.5	39.5	37.4	40.9
	三	聞き取った内容と関連付けた説明	40.0	87.1	86.9	89.9	85.8	81.6	90.4	87.7
2	一	(1) [車窓 (しゃそう)] の読み方	80.0	84.8	85.1	79.7	74.2	70.6	84.8	71.7
		(2) [奮 (ふる) う] の読み方	70.0	71.4	72.0	61.6	68.8	64.0	77.0	69.2
		(3) [重宝 (ちょうほう)] の読み方	80.0	42.5	43.2	31.9	36.1	29.9	46.5	36.8
	二	(1) [てんけい (典型)] の書き方	40.0	39.8	41.1	18.1	18.3	20.9	24.8	11.2
		(2) [そそ (注) ぐ] の書き方	70.0	72.6	73.5	58.0	66.3	60.9	68.3	71.4
		(3) [さんさく (散策)] の書き方	60.0	50.0	51.0	32.6	40.5	41.2	35.7	42.8
	三	(1) 誤字訂正 (徑→経)	40.0	74.7	75.2	65.9	70.4	66.1	76.5	71.4
		(2) 誤字訂正 (張→帳)	40.0	57.4	57.9	50.0	49.8	45.9	50.4	54.0
	3	一	[いはく] の現代かなづかい	90.0	87.7	87.7	87.7	75.5	71.3	90.0
二		[いかん] の現代語訳	90.0	87.4	87.6	84.8	87.4	86.8	88.7	87.2
三		故事成語の意味の説明	40.0	39.9	40.2	34.8	44.0	52.9	49.1	30.5
4	一	接続語の指摘	70.0	74.4	74.3	74.6	68.7	65.6	74.8	68.4
	二	主語の指摘	40.0	20.0	20.3	14.5	9.7	7.5	17.8	7.1
	三	(1) 必要な情報の指摘	60.0	79.5	79.7	77.5	77.2	76.2	80.0	76.6
		(2) 情報の選択と理由の説明	50.0	73.3	73.5	68.8	75.8	79.8	72.6	73.3
5	一	適切な語句の指摘	70.0	51.5	51.4	53.6	52.6	50.6	56.5	52.6
	二	適切な文の指摘	50.0	5.5	5.7	2.2	2.7	3.1	3.0	2.2
	三	適切な書き換え	70.0	61.8	61.8	61.6	58.4	55.5	62.2	59.4
	四	音読の工夫の説明	60.0	45.4	45.5	44.2	50.8	58.4	52.6	40.9
6	一	適切な語句の指摘	60.0	16.5	16.5	15.9	13.0	13.2	14.3	12.0
	二	適切な部分の指摘	50.0	37.2	37.9	26.1	29.5	28.0	37.8	26.2
	三	適切な内容の指摘	50.0	38.8	38.9	36.2	35.2	36.5	36.1	33.2
	四	文章内容の説明	30.0	28.1	28.1	29.7	26.1	34.8	29.6	13.9
7		情報を適切に用いた文章の記述	40.0	49.5	49.0	57.2	51.2	56.2	54.3	43.3
教科全体 (全小問の総正答数÷全小問の総解答数)			57.0	54.1	54.3	49.7	50.0	50.1	53.6	47.7

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
43.1	37.0	71.8	45.1	40.9	35.5	30.8	37.8	38.1	37.1	38.4	32.0	42.3	40.2	49.9	40.6
44.0	45.4	45.1	37.5	42.5	41.0	44.1	37.5	40.5	41.0	43.1	32.8	43.6	45.1	38.5	42.5
86.2	86.9	89.2	79.1	87.0	83.5	81.6	79.2	87.4	83.7	83.8	83.6	85.7	85.4	86.8	85.7
79.7	78.1	83.8	84.6	78.3	61.9	65.0	58.1	61.3	79.0	82.8	64.8	76.1	77.0	72.8	76.5
64.8	64.5	68.2	78.3	49.2	56.0	58.6	53.0	55.4	62.4	64.5	54.7	60.4	61.9	55.1	64.1
37.8	41.1	30.0	33.6	33.5	37.1	32.5	45.0	36.6	34.5	34.7	33.6	38.6	38.6	38.5	38.6
26.1	24.5	36.1	20.6	29.1	29.9	31.3	28.3	29.6	21.0	20.9	21.1	34.4	35.5	30.4	30.9
64.8	60.1	69.3	79.8	68.1	64.1	75.0	65.3	54.5	65.0	67.8	54.7	63.4	63.2	64.2	66.3
30.3	32.2	22.0	34.0	26.0	40.5	37.7	38.3	43.9	36.3	40.5	20.3	39.9	42.2	31.5	40.3
70.2	71.4	67.5	73.1	64.2	72.4	76.0	73.3	68.9	77.4	78.4	73.4	75.9	76.4	74.2	73.5
54.5	56.8	49.8	51.4	51.2	52.0	52.4	52.2	51.4	53.3	54.0	50.8	54.6	53.6	58.0	54.2
89.2	89.3	94.2	87.7	84.6	88.3	92.0	87.7	85.6	85.4	87.7	76.6	86.2	86.2	86.2	86.4
87.8	88.5	88.4	85.0	85.8	90.1	90.8	91.0	89.2	84.9	86.7	78.1	90.8	91.2	89.3	88.6
37.2	35.9	43.0	28.5	46.1	35.4	38.5	38.6	31.1	39.0	42.1	27.3	34.3	35.4	30.1	37.6
70.4	67.3	80.1	75.5	70.1	69.5	70.4	67.9	69.7	69.8	71.0	64.8	70.5	71.9	65.5	71.0
12.1	11.5	14.4	13.4	11.8	17.5	20.4	13.4	17.3	16.9	19.3	7.8	15.8	15.8	15.6	15.8
76.8	78.6	74.0	75.5	72.0	76.5	77.9	77.1	75.0	74.6	77.2	64.8	77.8	78.9	73.7	77.5
76.2	78.2	82.3	66.8	69.3	74.2	73.0	73.3	75.7	67.2	64.3	78.1	74.3	73.5	77.1	74.2
52.2	51.8	52.3	55.7	50.4	48.2	48.4	47.6	48.3	54.1	54.4	53.1	54.6	53.0	60.6	52.1
4.2	4.8	4.3	2.8	2.8	6.1	5.9	5.4	6.7	4.6	4.1	6.3	6.6	7.5	3.4	5.3
61.4	60.8	64.3	59.3	63.0	61.4	67.2	60.4	57.2	63.9	65.1	59.4	62.8	63.8	59.2	61.7
51.5	55.3	47.3	36.4	52.0	51.5	59.8	51.2	44.9	47.6	47.6	47.7	45.2	44.5	47.6	48.2
10.9	10.3	13.7	11.5	10.2	15.2	19.3	14.1	12.5	16.4	16.0	18.0	14.1	14.1	14.1	14.2
30.2	31.1	30.3	26.1	29.5	31.0	32.7	35.0	27.4	27.8	29.6	21.1	36.0	35.3	38.3	33.2
36.0	38.3	32.5	37.5	26.4	40.8	43.6	42.4	37.6	35.0	36.3	29.7	39.3	39.0	40.4	38.1
26.1	27.3	25.6	22.9	23.6	22.9	26.3	25.7	18.7	25.7	25.7	25.8	26.0	26.6	23.8	26.0
55.0	57.8	65.0	39.5	45.3	48.0	47.4	52.2	46.2	46.0	45.0	50.0	47.4	48.7	42.4	49.8
51.1	51.3	53.5	49.7	48.6	50.0	51.8	50.0	48.5	50.0	51.1	45.6	51.7	52.0	50.6	51.6

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	3	1三	1二	56.2	46.7
書くこと	3	4三(1)、4三(2)		67.1	50.0
読むこと	11	3二	5一、5二、5四、 6一、6二、 6三、6四	43.3	58.2
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	10	2一(1)、2三(1)、 2三(2)、3一	2一(3)、2二(3)、 4二	54.7	61.0

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す・聞く 能力	3	1三	1二	56.2	46.7
書く能力	3	4三(1)、4三(2)		67.1	50.0
読む能力	11	3二	5一、5二、5四、 6一、6二、 6三、6四	43.3	58.2
言語について の知識・理解・ 技能	10	2一(1)、2三(1)、 2三(2)、3一	2一(3)、2二(3)、 4二	54.7	61.0

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (かつこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、 調査全体の誤答の割合とは異なる)
1 二	42.5	ウ(19.5)、イ(18.5)、ア(10.0)、選択肢にない言葉(1.0)、無答(0.5)
4 二	15.8	内容を(17.5)、私たち実行委員会は(16.5)、発表会の内容を(12.5)、 計画中(12.5)、発表会の(7.0)、無答(3.0)
5 二 四	5.3	質問の内容や意図を理解していない(51.5)、森のあるじの「言葉」のみ 又は、「行動」のみを指摘している(20.5)、一文になっていない(12.5)、 無答(8.5)
	48.2	理由がカムロの気持ちに触れられていない(36.5)、無答(11.5)、 「音読の仕方」のみ又は、その「理由」のみを説明している(6.5)
6 一 二 三	14.2	「光を与えず」「光をつけた」等、内容に即していない(44.8)、 無答(42.0)、抜き出す範囲や字数等、条件に従っていない(13.2)
	33.2	抜き出す範囲や字数等、条件に従っていない(48.0)、内容に即していな い(29.6)、無答(22.4)
	38.1	エ(36.0)、ア(24.0)、無答(21.0)、イ(19.0)

- ①二では、誤答の原因として、質問の内容や意図を踏まえて、適切な選択肢を選べない解答が多かったことから、聞きながら考えたり、聞いたことを基に考えたりして、その内容をより深く理解し、自分の経験や他の情報・資料と比べて、考えをまとめる力が不足していることが考えられる。
- ④二では、誤答の原因として、直前の語に注目した解答や、二文節のまとまりに注目する解答が多かったことから、長い文の中で主語を的確に捉えたり、二つ以上の文節のまとまりについて確実に押さえたりする力や、文の成分の順序や照応、文の構成を考える力が不足していることが考えられる。
- ⑤二では、誤答の原因として、質問の内容や意図を的確に理解できていない解答が多かったことから、登場人物の行動の意味を、話の展開に即して読み取る力が不足していることが考えられる。
- ⑤四では、誤答の原因として、登場人物の気持ちに触れられていない解答や無答が多かったことから、問われていることそのものの意味や条件を踏まえて、考えをまとめる力が不足していることが考えられる。
- ⑥一や⑥二、⑥三では、誤答の原因として、内容に即していない解答が多いことから、質問の内容や意図を的確に理解する力、必要な情報を探し出してまとめる力が不足していることが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別、評価の観点別にみた課題の一つ目としては、「話すこと・聞くこと」、「話す・聞く能力」において、聞き取った内容を自分の経験や他の情報・資料と比べて、共通点・相違点や気付いたことを述べ合う能力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、各領域の指導の中で、聞きながら考えたり、聞いたことをもとに考えたりすることを意識させるとともに、他領域との関連を図った「話すこと・聞くこと」領域の指導の中で、相互の考えを交流することを通して、自分の考えを広げていく工夫をすることが大切である。

指導例

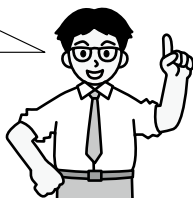
文学作品の学習から、話したり聞いたりする活動に発展させる指導
～単元名「ビブリオバトルで心に残る文学作品を推薦し合おう」～

【指導の流れ】※夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介の作品を想定した単元の流れ

1 学習の見通しをもたせながら、読みの観点に基づいて教材を読ませる。

学習活動① 観点を明確にして、考えながら推薦の発表を聞いたり、考えたことを述べ合ったりするという学習の見通しをもち、教材を読む。

この単元では、心に残る文学作品を推薦し合い、観点に基づいて考えながら聞く力、聞いたことに対する自分の考えをもつ力を付けていきます。まずは、「読みの観点」に基づいて教材を読んでみましょう。



文学作品を推薦する上で着目する「読みの観点」

- ア 作品の構造や展開 (人物と状況設定、事件の発端・山場・終末)
- イ 登場人物 (人物像、人物相互の関係、言動の意味)
- ウ 描写の効果 (登場人物や情景など)
- エ 作者 (生き方、ものの見方や考え方)

ポイント

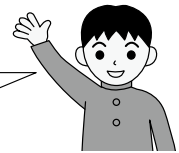
上の「読みの観点」に基づきながら、必要に応じて情報の取り出しを行い、教材に対する理解を深めさせる。

学習活動② 「読みの観点」ア～エに照らして、教材を推薦する内容を検討したり、推薦文のモデルを分析したりしながら、効果的な推薦の仕方について考える。



「最後の一句」は、長女いちの「お上のことにはまちがいはごいませんまいから」という言葉が印象的ね。この一言で父親が死罪を逃れるのだから、文章の山場だと思うな。「観点」アで推薦できそう。

「坊っちゃん」は、いくつになっても無鉄砲な主人公で、主人公が赴任する中学校の先生方に「狸」「赤シャツ」「山嵐」「うらなり」というあだ名があるのが面白いな。「観点」イで推薦できるかも。



2 既習の文学作品を「読みの観点」ア～エに照らして読み直させ、一つ選んで推薦する内容を考えさせる。

学習活動① 「読みの観点」ア～エを意識しながら、既習の文学作品を読み直す。

学習活動② 「1 **学習活動②**」や「2 **学習活動①**」で学んだ内容を参考に、読み直した文学作品から一つを選び、推薦する内容を検討する。



小学校で学習した「大造じいさんとガン」を改めて読んでみると、「秋の日は美しく」「あかつきの光がすがすがしく」「東の空が真っ赤に」などの情景描写がきれいだな。「観点」ウで推薦するとしたら、情景描写の効果を説明すればいいね。

ポイント

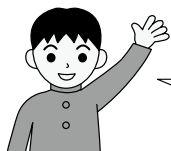
- ・既習の文学作品については、小学校の教材を含めて考えさせてもよい。
- ・朝読書等の時間や学校図書館の蔵書も活用して、既習の文学作品を並行読書させる。
- ・推薦の際に、書籍の実物や推薦の根拠を示す資料の提示を検討させてもよい。

3 「2」をもとにビブリオバトルを行い、相互に評価し合いながら交流させる。

学習活動① 「2 **学習活動②**」で検討した内容をもとに、グループでビブリオバトルを行う。

学習活動② ビブリオバトルを振り返り、話した内容について評価し合う。

私が推薦するのは、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」です。「観点」エに照らして読むと、^{かんだ}韃陀多の姿を通して、どんな人でも優しさや弱さをもっているのだという作者の考えが読み取れます。人間の生き方について深く考えさせられる作品なので、ぜひ読んでみてください。



最初に推薦作品と「観点」エを挙げていたので、話の内容が分かりやすかったです。登場人物の韃陀多について触れていましたが、「観点」イから他の登場人物のことを付け加えたり、場面が大きく変わることが「観点」アと関連付けて説明したりすると、聞き手が「読みたい」と思うのではないのでしょうか。

ポイント

- ・話した内容を評価し合うことに重点を置き、作品の順位決定などは発展的に行わせる。
- ・「1 **学習活動①**」で確認した「読みの観点」を意識して聞かせ、話し手が挙げた観点と話した内容との整合や、他の観点での見方ができないかを相互に評価させる。
- ・推薦の根拠を示す資料が提示された場合は、その内容と話した内容との整合も考えさせる。

内容・領域別、評価の観点別にみた課題の二つ目としては、「読むこと」、「読む能力」において、文学的な文章を読むときに、個々の場面や描写を捉えるのではなく、作品全体を通した複数の場面や描写と関係付けて読む力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、登場人物の言動について、どの場面や描写と関係があるのか、根拠を明らかにして自分の考えをまとめさせることが大切である。

指導例

音読の工夫をすることで、内容理解を深めさせる指導

～単元名「叙述に基づいて根拠を明らかにし音読を工夫しよう」(『字のない葉書』)～

【指導の流れ】

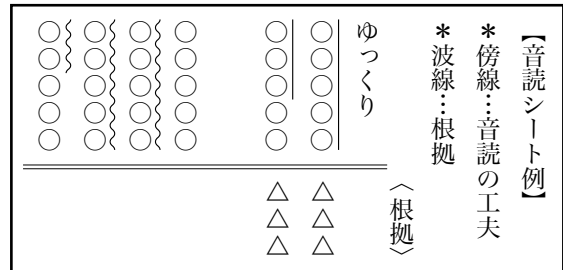
1 学習内容の見通しをもたせながら、課題意識を高めさせる。

学習活動① 全文を通読し、音読の工夫をするという目的意識をもって、語句の意味を調べる。

学習活動② 作品の冒頭部分を例として、全体で音読の工夫の仕方を確認する。

ポイント

- ・作品全体を三つの部分に分け、音読したい部分を決めさせておく。
- ・音読の工夫だけでなく、なぜそのように読むのかという根拠を明確にするよう、「音読シート」に記入させる。



2 同じ部分を選んだ人同士でグループを作らせ、音読の工夫について交流させる。

学習活動① 前時に作成した「音読シート」を示しながら、音読の工夫とそのように読む根拠を説明し、音読する。

どのように音読を工夫するのか。また、なぜそのように読むのか。本文の根拠となる箇所を示しながら、お互いに理由を説明してみましょう。



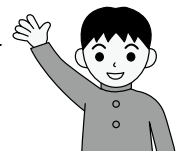
本文の語句の意味や情景を想像しながら考えてみましょう。

あれから三十二年。父は亡くなり、妹も当時の父に近い年になった。だが、あの字のない葉書は、誰がどこにしまったのか。私一度も見ていない。



私は、「あれから三十二年。」の後、少し間を置いて読みたいと思います。なぜなら、三十二年という月日が経過した様子を強調したいからです。

僕は、「～一度も見ていない。」のところで余韻を残すように、静かにゆっくり読みたいと思います。なぜなら、字のない葉書があるのかないのかわからないという中途半端な気持ちを表したいからです。



ポイント

- ・音読を上手に行うことが目的ではなく、叙述について根拠を示しながら、音読で工夫した点について理由を説明させる。
- ・グループ内で多様な意見を交流させることにより、内容についてさらに深く考えさせる。
- ・意見交流後、修正点等を「音読シート」に記入し、発展的に全体で「音読会」を行わせる。

内容・領域別、評価の観点別にみた課題の三つ目としては、「読むこと」、「読む能力」において、説明的な文章を読むときに、段落ごとなどの限られた範囲で内容を捉えるだけでなく、文章全体を俯瞰して分析的な視点で読む能力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、チェックシート等を活用し、視点を決めて分析的に文章を読ませることが大切である。

指導例

文章を分析的な視点で読む力を高める指導 ～「説明的な文章を読んで分析しよう」～

【指導の流れ】

学習の見通しをもたせながら、課題意識を高めさせる。

学習活動① 学習の見通しをもちながら、視点を決めて説明的な文章を読み、文章を分析する。



今回学習する説明的な文章を、チェックシートを使って分析してみましょう。この文章はチェックシートの②、④、⑩の視点で読み、分析してみましょう。

ポイント

- ・説明的な文章の学習の導入時に行わせる。
- ・教材の特徴に応じて視点を示し、焦点化させる。

説明的な文章 チェックシート (例)

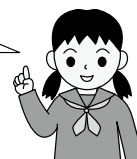
分析の視点	分析結果 (○△等)	理由
① 文章の種類 (記録・説明・評論・宣伝・記事・ナレーションなど)		
② 文章全体の構成 (頭括型・尾括型・双括型など)		
③ 話題提示の工夫		
④ 問題提起の明確さ	このチェックシートは例ですので、授業者の意図、生徒の実態や学習状況に応じて適宜変更してください。	
⑤ 根拠となる事例・事実の確かさ (客観性、一般性、図表の活用など)		
⑥ 主張のわかりやすさ、表現の工夫		
⑦ 接続語句の使い方		
⑧ 文末表現や言い回しの工夫、特徴		
⑨ 文や段落の長さ		
⑩ 引用の使い方		

学習活動② 分析した結果をグループ内で発表し合う。その際、どの部分からどのように分析したか、根拠を挙げて発表する。



②の文章の構成は頭括型ね。筆者は最初に結論を述べて、その後に理由を述べているもの。

④の問題提起の明確さについては、筆者がどの部分で問題を投げかけているのかがはっきりしないから、明確とは言えないな。



ポイント

- ・文章中から根拠を挙げて発表させることで、この教材はどのような文章構造になっているか、どのように問題を提起しているかなど、筆者の論理の展開の仕方や、表現の工夫などについて具体的に捉えさせる。
- ・様々な文章を分析させることで、文章の種類や構成などの知識を増やすようにさせる。
- ・この学習を、この後の学習につなげるようにさせる。
- ・説明的な文章を学習することにチェックシートを活用し、慣れてきたら生徒自身に視点を決めさせ、分析できるようにしたい。

「活用」に関する問題についての課題としては、目的に応じて必要な情報を選択する力や、主語を的確に捉えたり、二つ以上の文節のまとまりについて確実に押さえたりする力、文の成分の順序や照応、文の構成を考える力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、読み手を想定して情報や表現を吟味させたり、「話すこと・聞くこと」、「話す・聞く能力」、「書くこと」、「書く能力」、「読むこと」、「読む能力」の指導を通して、文の成分の順序や照応、文の構成を吟味させたりすることが大切である。

指導例

読み手を想定して、情報や表現を吟味して文章を書く指導 ～単元名「学校紹介リーフレットを作ろう」～

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせながら、グループごとに配布先や情報を決めさせる。

学習活動① 学習の見通しをもち、紹介する情報を考える。



この単元では、学校紹介のリーフレットを作ることで、読み手に思いが伝わる文章を書く力を付けます。リーフレットは、公民館、老人福祉施設、高校、小学校へ配布します。各配布先に紹介する情報は四つです。

【紹介する情報の候補】

- ・地域の様子
- ・年間の行事
- ・学校の目標
- ・学校の大きさや生徒数
- ・行事の様子
- ・部活動の様子
- ・授業の様子
- ・生徒の様子
- 等

学習活動② グループで話し合い、紹介する情報を決める。



私たちは公民館に配布するリーフレットを作ります。あそこにはいろんな人が来るから、どんな人にも伝わるような内容が必要ね。

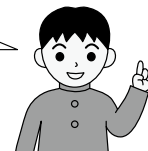
ポイント

想定した読み手にとってどんな情報が必要か、根拠を基に話し合わせる。

2 選んだ情報について、読み手を想定して文章を書かせる。

学習活動① 想定した読み手に合わせて、文章を書く際の注意点について話し合う。

公民館は不特定多数の人が訪れるから、丁寧な言葉遣いが大切だね。文章は敬体でそろえよう。



学習活動② 選んだ情報について、読み手を想定して紹介の文章を書く。

ポイント

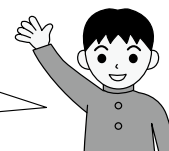
文章を書く前に、文の成分の順序や照応、文の構成について確かめさせる。

3 下書きの文章を交流させ、改善点を指摘させる。

学習活動① 下書きの文章を互いに読み合う。

学習活動② 下書きを推敲し、内容や構成、表現等を確認める。

地域の様子を最初に紹介しているので、どんな人にも分かりやすいと思ったな。それと、主語がよくわからない文があったから、はっきりさせると、もっと読みやすくなるよ。



ポイント

交流の前に、読む際の観点を確認させてから、下書きの文章を読ませる。

4 下書きを清書させ、リーフレットを完成させる。

キ まとめ

内容・領域別、評価の観点別についての学習状況は、「書くこと」、「書く能力」においては、概ね良好である。しかし「話すこと・聞くこと」、「話す・聞く能力」においては、聞き取った内容を自分の経験や他の情報・資料と比べて、共通点・相違点や気付いたことを述べ合う力が十分とは言えない。「読むこと」、「読む能力」においては、個々の場面や描写を捉えるのではなく、作品全体を通した複数の場面や描写と関係付けて読む力や、文章全体を俯瞰して分析的な視点で読む力が十分とは言えない。

今後、「話すこと・聞くこと」、「話す・聞く能力」の指導においては、他領域との関連を図りつつ、聞きながら考えたり、聞いたことを基に考えたりすることを意識させ、相互の考えを交流する授業を行うようにしたい。また、「読むこと」、「読む能力」の指導においては、文学的な文章を学習するときは、登場人物の言動について、どの場面や描写と関係があるのか、根拠を明らかにして自分の考えをまとめる授業を行うようにしたい。また、説明的な文章を学習するときは、視点を決めて分析的に文章を読む授業を行うようにしたい。

「活用」に関する問題も含めて総括的にみると、質問の内容や意図を的確に理解し、根拠を基に自分の考えを説明することが十分とは言えない。

今後の指導においては、丁寧に読み取った情報を、自分と結び付けて考えたり、交流を通して多様な考え方に触れたりしながら、思考・判断し表現する機会を意図的・計画的に設定することで、言語活動を適切に位置付けた授業を行うようにしたい。また、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主體的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実に向けた取組を進めたい。